

要件② 『 職場環境の要件項目 』		法人としての具体的取り組み内容
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指すものに対する実務研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援(研修受講時の他の介護職員の負担軽減するための代替職員確保を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 喀痰吸引研修・サービス提供責任者研修・おむつフitter研修・排泄機能訓練士など、より質の高いサービス提供を行えるよう研修受講を推奨。 ● 研修申し込みから日程調整及び受講料・旅費の負担も含め、職員が研修を受けやすい環境の整備。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考査との連動	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修受講やキャリア段位制度を人事考査に活用。
労働環境・処遇の改善	雇用管理改善のための管理者の労働・安全衛生法規・休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 雇用管理、労働・安全衛生など、新しい情報を得るための研修受講機会の確保。 ● 十分な休日(休暇)確保のためのシフト調整の実施。
	介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的にパーソナルトレーニングを受ける機会の提供を行い、コンディション確認や弱点の克服など身体の使い方を見直している。他、電動ベッド(低床ベッド)の導入や介護職員にとって使いやすい機器の選定を共に行い腰痛対策に繋げている。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 産休及び育休制度の実施。託児・学童の設立及び子育て中の者に対しては臨機応変なシフト調整が可能な体制の整備。
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内情報共有の仕組みの構築。 ● 各事業所ミーティングや管理者会議、全体会議等々、個々の職員の気づきを引き上げる機会を作り、疑問や問題点などを改善するために社内研修会の実施。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ● 身体拘束委員会・安全委員会の設立、また、苦情対応マニュアルや防災マニュアル等の様々なマニュアルを作成することにより、責任の所在の明確化。
	健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 全職員の健康診断を毎年(従事内容により年2回)実施。 ● スタッフルームの確保 ● 和太鼓・コーラス・ヨガ等、職員のかころの健康に繋がるよう場の共有や教室を立ち上げる等の環境作りを支援。また、その発表の機会を設けている。 ● 健康管理として鍼灸院を開設。受診しやすく配慮し、健康管理強化の一助とした。
その他	中途採用者(他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等)に特化した人事制度の確立(勤務シフトの配慮、短時間正規社員制度の導入等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 他業種からの転職者の受け入れ、中高年齢者に特化したシフトや業務内容の配慮等の実施。
	障がいや有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフト配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 無理のない業務内容やシフト調整の実施。
	地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域行事の開催時に場所の提供、また、地域の児童の受け入れや交流を図る。
	非正規社員から正規社員への転換	<ul style="list-style-type: none"> ● 非正規社員から正規社員転換を奨励。